

A O 1 1 初級 (実習あり)	<h2 style="margin: 0;">製品開発過程における特許実務</h2> <p style="margin: 0;">製品開発過程の特許実務で必要になる特許法等の基礎知識 実際の業務での関わりをわかりやすく解説</p>
講師	船木 隆英 (日本パテントデータサービス(株) 顧問、元 キヤノン(株) 知財研修室 室長)
日程・場所	東京会場 9月5日(木)
時間	1日間(10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45
アクセス	http://www.jpds.co.jp/company/access.html
定員	24名(先着順申し込み)
受講料(税別)	20,000円
対象	知的財産部門の実務初級者
内 容	
<p>本講座では、製品開発の実務の流れの中で、どのような特許実務が必要になるかをチェックしながら、特許実務上で必要になってくる特許法等とのかかわりを理解し、特許実務に合わせて、特許法等の基礎知識を理解することにあります。自社のために何をすれば良いのかを独自に判断(活動)するための基本的な特許知識を習得します。</p> <p>これから新たに知的財産関係の実務を始める方、実務を行っているが今一つ実務面での特許法等とのかかわりが理解し難いとお悩みに方へお勧めする基礎実務講座です。</p>	
プログラム	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 製品開発と知的財産権 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品開発における知的財産権の役割と活用 2. 知的財産権 <ul style="list-style-type: none"> ・ 知的財産権と産業財産権(特許、実用、意匠、商標)の概要 3. 特許実務上で必要になる特許基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特許制度の目的 ・ 特許権の内容と効力 ・ 一般的な製品開発過程における特許実務の流れで必要になる特許基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> ① 事業計画～基礎技術研究～商品開発まで <ul style="list-style-type: none"> ➢ 他社技術の動向調査 ➢ 他社問題特許の対応 ➢ 研究開発者の心構え ② 商品開発～商品販売前まで <ul style="list-style-type: none"> ➢ 商品開発、設計、試作、生産段階での発明発掘・出願対策 	<ol style="list-style-type: none"> ②商品開発～商品販売までのつづき <ul style="list-style-type: none"> ➢ 特許出願手続に必要な書類 ➢ 発明が保護されるまでの手続 ➢ 特許法で保護される発明(事例問題1・2・3) ➢ 出願公開制度、国内優先権制度(事例問題4) ➢ 出願分割(事例問題5) ➢ 職務発明制度、拒絶査定に対する審判 ➢ 商品販売後～ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 警告 ➢ 特許請求の範囲と特許権侵害の判断 ➢ 特許権の侵害 ➢ 特許権侵害の判断 ➢ 特許権侵害の対応(警告を受けた場合の対応は?事例問題6) ➢ 異議申立てと特許無効審判、訂正審判

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <http://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

- ・ 一部演習を伴います。
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。